

MATLAB キャンパスライセンス（無償提供版）の概要

① 利用対象者：

在籍する全ての教職員と学生（kyoto-u.ac.jp ドメインのメールアドレスを保有する方）

② インストール PC 台数：

無制限（1 名何台でもインストールできます。同時起動台数の上限もありません。）

③ 利用可能期間：

2020/4/1 - 2020/8/31 まで

④ 利用可能なソフトウェア：

MathWorks 社が Academic 向けに提供する全製品（約 100 製品）

詳細は [MATLAB Portal サイト](#)の「利用可能な製品の一覧を表示する」をご覧ください。

⑤ オンライントレーニング：

MATLAB 入門、Deep Learning 入門など 5 コースをいつでも受講可

[MATLAB Portal サイト](#)の「MATLAB と Simulink の使い方を学ぶ」から受講できます。

⑥ 動作環境：Windows, Mac, Linux に対応

詳細は[こちら](#)から確認ください。

⑦ web ブラウザ：最新の Google Chrome を推奨

詳細は[こちら](#)から確認ください。

⑧ サポート：

インストールサポート（MathWorks アカウント作成やインストール時のエラー等）：学生と教職員

テクニカルサポート（製品操作方法などの技術的質問）：教職員のみ

[MATLAB Portal サイト](#)の「インストールについてご質問のある方は、MathWorks サポートまでお問い合わせください」にアクセスください。

*ご自身の用途でどのように、MATLAB を活用できるか不明な場合や、ご相談がありましたら、

MathWorks 営業担当者に直接お問い合わせください。

MathWorks Japan 文教営業部 山村 信吾 syamamur@mathworks.com

インストール方法



- ① 京都大学の [MATLAB Portal サイト](#)へアクセスしてください。
Portal サイト内の「サインインして使い始める」をクリックします。
- ② MathWorks Account へのサインイン
 - (ア) MathWorks Account を既にお持ちで、kyoto-u.ac.jp ドメインのメールアドレスで登録済の方
 - 登録済のメールアドレスとパスワードを入力して、MathWorks アカウントにサインインします。
 - ライセンスセンターでライセンス番号【40903422】が表示されます。それを選択してダウンロードしてお使いください。
 - サインインした後、初回のみ、MATLAB のダウンロードを促すメッセージが表示されます。指示に従い、ダウンロードを進めます。後日ダウンロードしたい場合には、メッセージを閉じて大丈夫です。
 - (イ) MathWorks Account を持っていない方
 - Kyoto-u.ac.jp ドメインのメールアドレスで新規に MathWorks アカウントの登録を行ってください。
 - アカウントの作成後にログインすると、ライセンス番号【40903422】が表示されますので、各自ダウンロードしてお使いください。

*補足

オンライン学習環境での MATLAB の導入・活用

- MATLAB を活用した授業に関する短い[チュートリアル](#)もぜひご覧ください。
- [Distance Learning Community](#)

無償期間終了後の MATLAB の継続利用をご希望の場合

- 希望者は、MathWorks より 1 ヶ月間の[評価版](#)を入手可能です。個別に購入も可能です。
- 学生・大学院生は、安価な [Student バージョン](#)を購入することが可能です。
- 京都大学には [MATLAB 組](#)というユーザーズグループがあります。研究室単位で年間 3-5 万円支払うことにより、MATLAB のネットワークライセンスを共同利用することが出来ます。

その他問い合わせ先

MathWorks Japan 文教営業部

山村 信吾 syamamur@mathworks.com

(留意事項)

MATLAB 無償提供の期間終了後のデータ等の取り扱いについて

- Q 1. 無償提供の期間中に学生・研究者・教員が作成したデータについてはどのような取り扱いとなるのでしょうか。無償提供の期間終了後もそのデータを使い続けることができるのでしょうか。
- A 1. 無償提供の期間終了後は、MATLAB 自体は使用できなくなります。
しかしながら、いままでに作成したプログラム (m ファイルといいます。) はローカルに保存されますので、その m ファイルを、ご自身でお持ちの MATLAB で動かすことは可能です。
ただ、1 点注意点としては、MATLAB Drive (MATLAB ファイルの保管用のクラウドベースのストレージ) に保管されているファイルは、無償提供の期間終了前にローカルに移しておかれることをお薦めいたします。
他にも、ソフトウェア保守サービスが有効な MATLAB をお持ちの場合は、最大 5 GB のストレージを引き続き使用できますが、無償ライセンスのみ使用されている場合は、5GB→250 MB へ容量が減ります。
- Q 2. たとえば、無償提供の期間終了後に、京都大学の MATLAB ユーザーグループに加入した場合、無償提供の期間中に利用した MATLAB の環境をそのまま持ってこられるのでしょうか。
- A 2. 無償提供の期間中に利用した MATLAB の環境をそのまま持つていくことは出来ません。ユーザーグループの MATLAB ライセンスは、ネットワークライセンスであり、再度、自身の端末へのインストールが必要です。
また、ユーザーグループのライセンスは、Toolbox (拡張パッケージ) が限られておりますので、無償提供のライセンスでお使いいただいた Toolbox が存在しない可能性もあります。
使用される Toolbox が揃っていれば、“無償ライセンス”で作成した m ファイルを“ユーザーグループのライセンス”で動かすことが可能です。

以 上